

—講座名—

写真で語ろう!多摩平の思い出 50 年!

～日野市立図書館ブックリスト～

どうぞご利用ください。

多摩平の三年一組

一年は 465 日じゃないものね

山内春美／著 1985.1

この本を読み、小学生のとき休日に担任の先生の家遊びに行ったことを思い出しました。著者の山内さんは、小学校の教員。最後は、第五小学校に勤務されていました。「一年は 465 日じゃないものね」は、先生を慕って自宅を訪ねた子どもの言葉です。この言葉の意味をぜひお読みになって確かめてみてください。この本に出会えてよかったと思いました。

市民著作

お知らせ その①

日野市立図書館では、日野市在住の方の著作を収集しています。

お知らせ その②

多摩平図書館の「多摩平団地コーナー」では、多摩平団地が掲載されている資料を紹介しています。ぜひご来館ください。

たきびの詩人 巽聖歌

日野市郷土資料館ブックレット 2

日野市郷土資料館／編 日野市郷土資料館
2018.3

たきびの詩人、巽聖歌は、43 歳から 68 歳で亡くなるまで、現在の日野市旭が丘に住んでいました。犬好きで、いつも飼っていたそうです。多摩平がお散歩コースだったかもしれません。「たきび」の歌詞の「北風ぴいぷう」の部分が好きです。

中央線街と駅の 120 年

三好好三／編著 JTB パブリッシング
2009.12

多摩平に住む多くの人を利用する豊田駅。この本では、中央線沿線各駅の昔の写真を見ることができます。

かつて豊田駅北口に、3 頭の犬を従えた猟師の石像がありました。この「猟師と犬の像」は、多摩平団地から都心へ通勤する人たちを猟師になぞらえて建てられたのだということをこの本で知りました。